

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

28

表紙：クラフト“虫さんたちが集まる木”

暑い日が続く中、山の木にはたくさんの虫さんが集まっています。
せみさん、てんとう虫さん、とんぼさん…いも虫さんもやってきました。
みんなで集まってとっても楽しそう！
みんなも暑さに負けずに、元気に夏を楽しもうね！

アイデアを お待ちしております！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の最新ニュースやトピックなど皆さまに役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております！

「Hiraku」編集部
TEL：06-6135-0150
Mail：hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2023年7月発行 Vol.28

次回9月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ
TEL：06-6135-0150
☎ 530-0033 大阪市北区池田町 3-1
ぶらら天満ビル 2F
www.kinderkids.com



★インフィニティ初等部一期生 北陸旅行

★東京本校卒園生 カナダ・オークビル校で恩師と再会！

★宝塚校卒園生が母校で職業体験



日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.

旅しながら学ぶ歴史・地理・社会
インフィニティ初等部一期生

北陸旅行



5/16~18
福井・石川・富山



小学校6年間で日本の47都道府県をすべて訪ねるという目標に向けた最初の宿泊旅行先として選ばれたのは、福井・石川・富山の北陸3県でした。

北陸に旅行する前に、**KWLチャート**という方法で、北陸について何を学びたいかを考えました。この方法は、子どもたちに「すでに知っていること」「知りたいこと」「(単元終了後に)学んだこと」を考えてもらうものです。生徒たちが発した質問をもとに、北陸に関する単元を考えました。

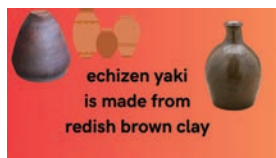
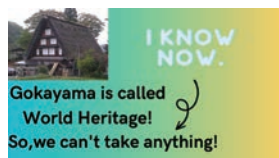
KWLチャートとは

K What I know	W What I want to know	L What I have learned
How do I know this? How did I learn this? How did I find out about this? How did I discover this? How did I learn about this? How did I find out about this? How did I discover this?	How do I know this? How did I learn this? How did I find out about this? How did I discover this? How did I learn about this? How did I find out about this? How did I discover this?	How do I know this? How did I learn this? How did I find out about this? How did I discover this? How did I learn about this? How did I find out about this? How did I discover this?

KWLチャートの例

KWLチャートは教材を効果的に読ませるために考案された教育の手法。K列、W列、L列の3列からなる表の枠を作り、それぞれに知っていることは何か(What I Know)、知りたいことは何か(What I Want to know)、知ったことは何か(What I Learned)を書き込ませる。予習として[K]と[W]を列挙して目的や興味を喚起し、復習として[L]を列挙することで達成項目を明確にする。研究の計画や情報の整理、テスト勉強などにも応用できる。

生徒たちは各県について学び、県名を漢字で書く練習をし、日本のどこに位置するのかを学びました。最後に子どもたちが小グループに分かれて、北陸で興味のある分野(米、合掌造り家屋、越前焼)について**プレゼンテーション**を行い、単元を終了しました。これは生徒たちにとって、これから行く場所について学び、**現地での実体験から最大限のものを得る**ための素晴らしい方法でした。



生徒が作成したプレゼンテーション資料の一部



旅行当日、私たちは特急サンダーバードでまず福井に向かいました。福井では、実際に**田植え**を体験することで、生徒たちは生産者の方への**感謝の気持ち**を新たにしました。その夜はきれいな海の近くのホテルに宿泊し、翌日は石川県の「ゆのくにの森」というところに行きました。ここでは、**越前焼き**を作ったり、おみやげの目的について学んだりしました。その夜は**五箇山集落の合掌造りの家**に泊まり、キャンプファイヤーを囲んで歌を歌いました。最終日には、富山で黒部峡谷鉄道に乗り、息を呑むような**黒部峡谷**を見ました。

共に旅をすることで生徒たちの絆が深まり、お互いへの尊重と理解が芽生えました。この旅行によって生徒たちは一体となり、クラスとしてさらに成長する機会を得ることができました。田植えや越前焼きの体験は、これまで学んだことを実践することで、より生きた知識になりました。また合掌造りの家での宿泊は、虫の多さに慣れない生徒にとっては新たな発見の瞬間でもありました!このような経験に加え、自分の持ち物の管理や衛生管理などさまざまな面で、**親元から離れて自分のことは自分で**することで得られる**自信**は、何物にも代えがたいものがあります。



旅行から帰った後、生徒たちはビデオ日記を作成し、自分たちの体験を振り返りました。振り返りの焦点は、**その土地の文化や美しさへの感謝**でした。今後も日本全国を旅しながら、さまざまな方法で振り返りを行っていく予定です。



インフィニティ国際学院
初等部 英語全般担当
マーク パール

今回の旅を振り返って

今回の旅は、日本一周の素晴らしいスタートとなりました。ほとんどの生徒は、都会での生活しか知らないもので、北陸に出かけて日本の自然の美しさを目の当たりにできたことは、とても新鮮な体験でした。この単元で稲作を学ぶ前は、ほとんどの生徒は稲がどのように植えられるかを知らなかったのが非常に貴重な体験ができました。このコースでは、各都道府県で体験することを子どもたちが主体的に考えるようになることを期待しています。最初の数回は、旅行会社からの提案に主に沿っていますが、生徒たちの知識や好奇心が高まるにつれて訪問する地域や体験にもっと意見を出せるようにしたいと思います。最終的には、生徒たちが自分の国や世界の中での位置づけを理解し、**地球市民として成長**することを願っています。

インフィニティ
初等部HP



Facebook



大阪市天王寺区
烏ヶ辻1丁目 2-22



東京本校一期生 カナダに留学

懐かしい恩師との再会

2013年にキンダーキッズ東京本校を1期生として卒業したK.T.さん。高校生になった彼女はカナダ留学中の今年の3月に、かつての恩師ステファニー先生に会うため、カナダ・オークビル校を訪問しました!

出会いは東京本校、一期生とその担任として

2010年、ステファニー・グッドはキンダーキッズ東京本校の開校に携わっていました。K.T.さんはこのスクールでの最初の生徒で、しばらくの間はステファニーとKさん、二人だけのクラスでした。

K3の途中でステファニーはカナダ校開校準備のため帰国し、クラークソン校の校長になりました。帰国の時、Kさんのお母さんが素敵なアルバムを贈ってくれて、今も大切に持っています。

時を経て、恩師の国・カナダへ

ある日Kさんからステファニーへ「バンクーバーでホームステイをしながら高校に通っている」とメールが届きました。彼女にとって初めての恩師であるステファニー先生の故郷だから留学先をカナダに決めたと聞き、とても嬉しく、光栄に思いました。その後2人は再会に向けて連絡をとり合いステファニーは現在校長を務める2022年に開校したオークビル校に招待しました。



スポーツフェスティバルで涙の再会

折しもその日はスポーツフェスティバルでKさんは会場を訪れました。体育館に到着しステファニーに会えた瞬間喜びに涙し、大きく成長した彼女に会えたステファニーも涙をこらえながらイベントのMCを務めました。遠く離れたカナダで懐かしい教子との再会はまるで夢の中の出来事に感じられました。スポーツフェスティバルで行われたイベントやダンスは、キンダーキッズ時代にステファニーと一緒にいったものと同じものが多かったため、当時の自分を重ねて彼女は感無量になりました。



11年ぶりに共に過ごす幸せな時間

スポーツフェスティバルの後、Kさんはキンダーキッズオークビル校を見学し、自身がキンダーキッズに通っていた時代と同じワークブックやリーダー、壁に描かれたフォニックスキャラクターを見て楽しみました。その後二人はオンタリオ湖を見に行き、ステファニーの家で家族と一緒に過ごしました。ステファニーの二人の子どもは当時のKさんとほぼ同年齢で、二人ともオークビル校に通っています。家では、Kさんのクラスの古いアルバムを見つけ、思い出話を花を咲かせました。Kさんは最後に「とても楽しかった、トロントを離れたくない」と言い二人はまた再会することを約束しました。



東京本校1期生
K.T.さん

人生に大きな影響を与えてくれた キンダーキッズとステファニー先生との出会い

キンダーキッズの頃、いつも思い出すのはステファニー先生のとびっきりの笑顔と毎日の出迎いのハグです。他の先生方も明るくて優しく、大好きでした。クラスメイトとのクリスマスコンサートのステージは本当に素晴らしい思い出です。そのステージのおかげで、今でもダンスを続けています。キンダーキッズで学んだことによって、英検の資格を取得し、中学受験でも他の生徒よりも少ない科目で受けられました。中学では英語の勉強に苦勞することはありませんでした。しかし次第に思うように英語が話せなくなっていると感じ、幼稚園の頃のように英語がすぐに出てくる感覚を取り戻したい、と留学を決めました。小さい頃からネイティブの先生方が身近にいたので、自然と留学に踏み出せたのだと思います。カナダを選んだ理由は、大好きなステファニー先生の生まれた国を実際に自分の目で見たかったのと、どうしても先生に直接お会いしてお礼が言いたかったからです。それが留学生活を支える最大のモチベーションでした。先生に再会できた時は嬉しくて泣きっぱなしでした。まさか本当に会えるだなんて、奇跡です!私の人生に大きな影響を与えてくださったこと、英語という得意ジャンルを作ってくださいましたこと、直接『感謝』を伝えることができ、留学生活の最大の実りとなりました。中山代表やステファニー先生の背中を追いかけて、将来は逞しい女性になって愛溢れるインターナショナルスクールを作りたいと考えています。



KさんがK3の頃に「Some day I would like to become a teacher like you」と将来の夢を書いたメッセージカード

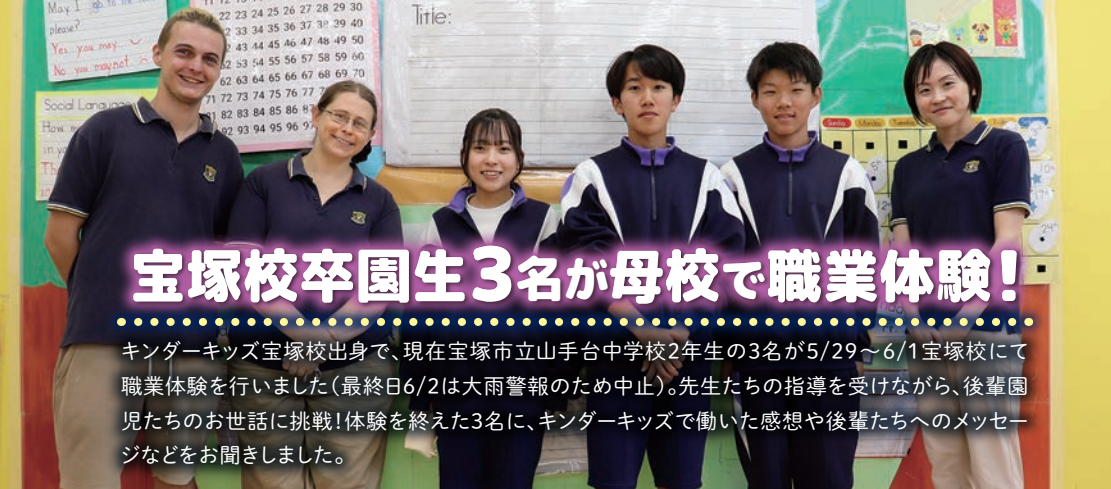


オークビル校 施設長
Stephanie Good

感動の再会を振り返って

今回の再会はとても感動的なひとときで、別々に分かれた二人の人生が、ぐるっと回って再び同じ場所に戻れたような、素敵な気持ちになりました。私が日本でKさんの先生になったことで、大きな影響を与え、もしかしたら彼女の人生の軌道を変えることさえあったのかもしれませんが。東京本校時代に大変お世話になったお母さんと今度は一緒に遊びに来てもらえたら嬉しいです。





宝塚校卒園生3名が母校で職業体験!

キンダーキッズ宝塚校出身で、現在宝塚市立山手台中学校2年生の3名が5/29～6/1宝塚校にて職業体験を行いました(最終日6/2は大雨警報のため中止)。先生たちの指導を受けながら、後輩園児たちのお世話に挑戦!体験を終えた3名に、キンダーキッズで働いた感想や後輩たちへのメッセージなどをお聞きしました。

K2当時の担任の先生(向かって右端)と再会!



キンダーキッズ宝塚校
2016年 卒園
K.M.くん

改めて実感したキンダーの先生方の凄さ!

今回の職業体験は、自分たちが通っていた頃に先生方からどんなことをしてもらっていたのかを改めて見てみたいと思い、キンダーキッズに来ることを選びました。子どもたちのお茶の補充、寝かしつけ、机の消毒、一緒に遊ぶことなど、色々なことを経験することができましたが、改めて実感したことは「先生方の凄さ」でした。お昼寝の時間、自分が寝かしつけようとしても全然寝なかったけど、先生に変わったら子どもたちが驚くほど速く眠りについたことがとても印象に残っています。キンダーキッズではキャンプやクリスマスコンサートがとても楽しかった記憶があります。早くから英語を学べたおかげで、学校の定期テストでは英語は常に上位の点数を取ることができましたが、将来も英語を専攻し、世界の色々な人とコミュニケーションを取れるようになりたいと思っています。そして今回キンダーキッズでの職業体験で、英語を使って働くことの楽しさを実感し、海外で働きたいと思いました。

後輩へのメッセージ

これからもキンダー卒園生が職業体験に訪れると思いますが、ぜひ楽しみながら学びのある一週間となるように頑張ってください!



キンダーキッズ宝塚校
2016年 卒園
M.O.さん

将来は英語を使って人々を助けたい!

自分が在校生の頃にお世話になった先生方に再会したかったこと、子どもたちに英語の重要性を伝えたかったことから、キンダーキッズでの職業体験を選びました。子どもたちと一緒に授業を受けて、先生のお手伝いをしましたが、子どもたちが私のもとに来てくれて、名前を呼んでもらったことがとても可愛らしく印象に残っています。

今回の職業体験を通じて、私は本当に英語が好きなのだと思えました。子どもたちが笑顔で英語を使って色々な事に挑戦する姿を見て、そういう人のために働く仕事ってかっこいいなと思い、もっと英語を上達させたいと思えました。そして将来は英語を使って人々を助けたり、つながったりする仕事がしたいと思い、外資系企業で働きたいと考えるようになりました。

後輩へのメッセージ

キンダーキッズに通うみんなも、これから英語を学んでいく上で楽しいことばかりでなく時には苦しいこと、辛いことなどの困難が必ず待っているけれど、そこを頑張って乗り越えることで絶対に楽しいことが待っているの絶対に諦めないでほしいと思います。



キンダーキッズ宝塚校
2016年 卒園
Y.I.くん

子どもと関わる仕事に就きたい!

自分が幼い頃にお世話になった先生方を手伝いたいと思い、今回キンダーキッズでの職業体験に参加しました。子どもたちのお茶の補充、手や机の消毒、小さな子たちを並ばせることなどをやってみて、先生の仕事はとても大変だと感じました。

キンダーの子どもたちは、みんな綺麗な英語を話していることにとても感心しました。また先生が話し始めるとみんな静かになり、きちんと話を聴いていたこともとても印象に残っています。今回の職業体験で、子どもたちを指導することの難しさや、どのように関わっていくべきなのかを少しは知ることができました。自分がキンダーキッズの在園生だった時は、遠足やみんなで仮装したハロウィンパーティが特に良い思い出ですが、そのような楽しいイベントの時も先生方は大変だったと思います。将来は自分も子どもと関わる仕事に就きたいと思っていますが、もっと頑張らない!と思いました。

後輩へのメッセージ

キンダーキッズのみんなには、今英語をたくさん学ぶことが将来たくさんのいい事につながっていくから、これからも頑張ってください!

